

三重県四日市市		●活動名 四日市市立四郷小学校コミュニティスクール運営協議会 (くろがねもち協議会)			●関係する学校名 四日市市立四郷小学校		
協働活動開始年度	平成 22 年度	学校運営協議会	指定・設置日 平成22年4月1日指定	地域学校協働本部	無		
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習		—			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 13人		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 47人			
ボランティアの数	延べ登録人数 40人	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	無		
参考URL	二						
●連絡先	四日市市立四郷小学校			☎ 059-320-2070			



5世伊藤小左衛門氏銅像

●活動の概要・経緯	○組織・運営	運営協議会 年間5回開催					
	○活動内容	・四日市市立四郷小学校コミュニティスクール運営協議会委員及び地域の方、PTAの方による参加参画型教育活動。 ・…5つのボランティア組織体制の整備(学習支援・図書・クラブ・交通安全・環境) ・運営協議会による学校・通学路等、安全点検の取組。 ・地域学校合同防災訓練の取組。 ・学校・家庭・地域合同の夜間パトロールや地区行事への積極的な参加。					

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ・人・伝統・自然をキーワードに、①ふるさと四郷の歴史や文化を知る②四郷の人々とふれあい、生きざまを見つめる③自然災害や交通事故から自分の命を守る、の3つの体験学習の充実を図っている。
- ・本校創始者である5世伊藤小左衛門氏の生きざまについて全学年で取り上げ、道徳科や社会科で学習している。
- ・地域の方々は、四郷っ子的のために一生懸命かかわってくださり、登下校時や授業等を通して様々な人々とふれあうことができる。
- 例：3・4年生と四郷消防分団・四郷地区郷土資料館の皆さん、伝統芸能クラブの子どもたちと郷土資料館保存会の皆さん等

【実施に当たっての工夫】

- ・郷土資料館保存会の皆さんを講師に迎え、教職員対象の研修会を毎年資料館で開催し、まず教職員が四郷を知ることが大切になっている。
- ・本校は高台に位置しているため、災害時の避難所指定を受けており、昭和49年の水害以降防災訓練が盛んである。年1回、地域自治会と学校共催で、地域住民、本校児童、近隣園・中学校参画の合同防災訓練を行っているため、児童の防災・避難意識は高い。

【関係機関・団体等との連携状況】

- ・四郷消防分団、四郷地区郷土資料館の皆さんと3・4年生見学指導
- ・高齢者施設「四季の里オーロラ」の皆さんと2年生交流会
- ・四郷地区三大祭り保存会による伝統芸能クラブ指導
- ・交通ボランティアと1年生交流会と安全指導
- ・本校園芸委員会から、資料館等近隣施設へのお花寄付
- ・四郷消防分団の皆さんから教職員への救命講習指導

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ・発足から10年が経過し、児童が地域の方から学び、地域とつながりを深め、地域を大切にする気持ちを育むことにつながっている。「挨拶を進んで行う子」、「お礼の手紙を渡す子(卒業前に6年生より)」など、挨拶について全国学力・学習状況調査結果では肯定回答が増え、今年度も学校独自で6年生を対象にいじめ調査を実施したところ、いじめを肯定する児童は0%と、人を大切にする姿勢が見られた。
- ・通学路においては、自動車の通行数も多く危険な場所も多いが、幸い大きな交通事故もなく、大阪北部地震(平成30年)の際も、児童が「自分で自分の身を守ること」ができる児童の姿も見えてきた。
- ・夏休み自由研究では、地域をテーマ(伊藤小左衛門氏、三大祭り、あすなろう鉄道、交通安全等)に扱う児童が増え、力作も多い。

● その他

- ・教職員による校区の写真ガイドマップを作成・掲示したり、PTA広報部による地域をテーマにした特集記事掲載や表紙写真を飾ったりするなど、子どもを取り巻く周囲の大人がより地域を意識し、貢献し、自ら発信できるようになってきた。



地区・学校合同防災訓練



四郷地区郷土資料館見学